



事業所職員向け

児童発達支援自己評価表

4名中4名回答

チェック項目		はい	いいえ	意見	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			・適切。粗大運動できるスペースも確保しています。
	② 職員の配置数は適切であるか		4	・休みが取りにくいと感じる ・一人欠けると送迎など業務に支障が出る	・他事業所からのヘルプで補って対応しています。 ・今後は、随時職員増に向けて配置転換の対応をしていきます。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2	2	・バリアフリーでは無いが利用児の中では支障が無い	・現在、利用しているお子さんは支障なく過ごせていますが、今後必要時には、お子さんの特性や障がいに応じた改善を図っていきます。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	4			・清掃、消毒、整理整頓をまめに行っています。 ・活動に合わせてホールや個室を利用しています。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4			・レク活動は事前に目的と内容を把握し、職員間で検討しています。 ・反省、振り返りを毎日全員で行い、そこで出た改善点や反省点を次回の活動に反映させ、より良い活動と支援の提供が出来るよう、今後も務めてまいります。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			・いただいたご意見を、職員で共有し、改善していきます。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			・事業所向け及び保護者様向けの評価表を集計しホームページで情報開示いたします。また、その旨を毎月発行しているひかりだよりでも保護者様にお伝えいたします。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	3		・現在、第三者による外部評価を行っておりません。今後検討していきます。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4		・スケジュールを工夫しながら、内部研修及び外部研修に参加している	・社内研修を年間計画に盛り込まれている他、社外研修の機会もあり、職員全員が研修に参加できるよう調整しています。 ・また、研修内容は報告書の他、職員間で学びを共有し、質の向上に繋げています。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	4			・保護者様とのアセスメントをしっかりと行い主訴ニーズを聞き取り計画案を作成しています。 ・ケース会議を行い、目標設定や計画案の見直しをし、ニーズやお子様にあった療育内容になるよう高めています。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4			・共通ツールを使用しアセスメントを行っております。

適切な支援の提供	⑫	個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4			・ガイドラインに沿った項目を、お子様の状態や特性、課題に応じて選択し、そこから支援内容を具体的に設定しています。
	⑬	個別支援計画に沿った支援が行われているか	4			・個々の目標に添った活動を日々取り入れています。 ・活動の様子を毎日記録しながら、反省や振り返りをし、次につなげています。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			・レク案を全員が目を通しています。 ・毎月のレク会議や朝打ちで共通認識しチーム一丸となって取り組んでいます。
	⑮	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	3	1	・レクの担当数が増えた為、同じような傾向のレクになりがちとなっている。	・利用児に合わせて、粗大運動や微細運動、社会性を意識する活動など、様々な経験を得られるよう考慮しながら計画を立てています。好評だった活動は更に楽しめるよう工夫し別月に再度実施する等、配慮しています。 ・マンネリにならないよう配慮していきます。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成しているか	4			・集団活動の中に、それぞれのお子さんが必要な取り組みが入るよう、配慮しています。 ・必要に応じて個別療育の時間を設け、個々に合わせた療育を行っております。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			・前日や当日朝の打ち合わせで、レク内容や役割分担の確認を行っています。 ・支援内容がお子さんの課題や状況に合ったものになっているのか、安全に取り組めるのか等を確認し、必要に応じて変更修正し、実施しています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4			・当日振り返りが出来ない時は、翌日の打ち合わせ時に改善点を話し合っています。
	⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			・職員全員で日々の支援の記録を取り、お子さんの現状把握や支援の検討に活用しています。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4			・日々の打ち合わせや会議の中で、お子さんの状況を共通理解し、必要のあるお子さんについては適時計画の見直しをしています。
	児童発達支援事業所の関係者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4		
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4			・町の保健師や保育所職員との情報交流などを通じてお子さんの状態を共通認識した中で、連携してお子様と保護者様支援を行っています。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	3	1	・対象児なし。	・地域保健師、学校、医療機関と連携を取りながら支援しています。 ・現在該当児のご利用はありませんが、今後、ご利用があれば、関係各所と連携協力しながら支援を行っていきます。
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	3	1	・現状、対象とされるケア児の利用がない。	・利用がある際には、地域保健師を通じて主治医をはじめとする医療機関との連携を図ります。
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4			・利用児の所属している保育所等と定期的に情報を共有し、協力して支援に当たっております。
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4			・小学校や教育委員会からのご要望を受け、支援内容やお子さんの利用時の様子をお伝えし、密に情報共有を行っています。
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4			・発達支援事業を担当している町の保健師を通じて、他の発達センター、専門支援機関や医療機関などの情報や検査結果等を教えていただいています。 ・また、日々の療育での注意事項や療育に必要な情報を提供いただき、ケアに活かしています。
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等の交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		4		・全員、同じ保育所に通っているお子様なので、改めて交流する機会を設けていません。
	㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	2		・地域の子育て支援活動(はぐまの会等)の参加や支援をしています。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			・連絡帳や親子レク、面談を通じてお子様の状況をお伝えし共通理解の場を設けてきました。 ・また、母子療育を利用されている保護者様とは、どのような状況と目的で課題設定しているのか、お子様の様子などを直接お伝えすることが出来ました。
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	2	2		・対応力の必要なご家庭には母子療育をお勧めし、定期的にお会いしてどのようにお子様と接したら良いか、子育ての助言をさせていただいています。
	保護者への説明責任等	㉙	運営規定、利用者負担額等について丁寧な説明を行っているか	4		
㉚		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか	4			・お子様の状況を鑑みて支援計画を作成し、面談時に丁寧にご説明しています。 ・本人にも説明し、同意を得ているケースもあります。

保護者への説明責任等	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			・送迎時や面談の際に、子育てに関するお話を伺い、必要に応じて助言や支援をさせていただきます。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	2		・親子レクを設け、保護者様同士が交流できる機会を設定しました。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			・保護者からいただいた相談や苦情については、状況の確認と共に迅速に対応してきました。今後も信頼してもらえよう、保護者様からの発信については真摯に対応していきます。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			・定期的にひかりだよりを発行しています。行事のお知らせはもちろん、活動写真や子育てに関する小話なども盛り込み、日頃の療育の様子が少しでも伝わりやすいよう、毎回工夫を凝らして作成しています。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	4			・個人情報については十分に配慮し取り扱っています。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			・障害がある、なしに関わらず、利用されている保護者様とは、随時情報交換を心がけています。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業所運営を図っているか		4		・地域住民の方々に来ていただいたの行事はコロナ禍につき開催していませんでしたが、ハロウィンでは毎年近くの商店さんに依頼し、ご協力をいただきました。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4			・防災防犯委員会、感染防止委員会を定期的に開催し、全事業所で各種マニュアルを整備し職員間で共有しています。 ・定期的に訓練を実施し、不測の事態に備えています。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			・年間行事に避難訓練を組み入れ、定期的に開催しています。 ・今年度は地域駐在所の協力を得て護身術や防犯訓練に力をいれてきました。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	4			・契約時はもちろん、送迎時や面談の際に保護者様から、変更がないか確認しています。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4			・今の所食物アレルギーのお子様はおりませんが、アレルギーのあるお子さんがご利用の際には医師の指示書の提出に協力いただけるようお声かけしていきます。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			・ヒヤリハット事例が生じた場合、速やかに作成し職員間で共有しています。

非常時等の対応	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応を行っているか	4			・虐待防止について、定期的に研修会に参加し、職員の質向上を図っています。
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	4			・事前に説明をし、個別支援計画に記載しています。